第12期　平成22年3月期
2009年度

第2四半期

決算説明資料

平成21年11月5日

株式会社Eストアー

本説明会での内容および本資料については、現在入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられます。投資のご判断の際には、本資料に併せて、有価証券報告書などの法定開示書類をご参考にして下さいますようお願い申し上げます。なお、閲読性を考慮し、中掲載されている取引先様の機関名、会社名など敬称を省略させて頂いております。

実績の流通額No.1　2,920億円

信頼の店舗数No.1　63,151店

強力な集客力No.1　88%の店舗に
毎月100万人超の消費者を送客

独自ドメイン店むけECサービスNo.1（無料事業者を除く）　09年10月累計

平成22年3月期　第2四半期
【第12期】　決算説明資料

2009年度

1 第2四半期決算概要と活動

2 第2四半期決算ハイライト

3 業績背景

4 今期の課題と下期施策

5 会社と事業の概要

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore

業績概要　4～9月累計

前年同期比で、売上高111.9%、営業利益131.0%に

売上利益

・フロウ売上が順調に伸長。市場拡大と送客施策好調による。

・ストック売上は伸長が鈍化。小口取次伸び悩み、大口取次不調。

開通料（新規）
月額料（毎月）

利用料
×
店舗数

店舗収益連動
×
各種サービス

送客手数料
カード決済代行
コンビニ決済代行
電子決済代行
受注手数料

	金額（百万円）	前年同期比
売上高	1,773	111.9%
ストック	1,166	105.0%
フロウ	545	135.0%
その他	60	86.9%
営業利益	275	131.0%
経常利益	278	131.4%
四半期純利益	162	141.8%

※ 1Q、2Q比では、2Qがやや落ち込む＝営業日数要因

活動内容と結果

店舗数増　ストック収益部

対前期末比　＋17.8％
ショップサーブ（主力）
11,777件 ▶ 13,874件

・直　　販　→　好調。無駄な広宣費を押さえつつ続伸
・小口取次　→　伸び悩み。前期比では伸長。
・大口取次　→　不調。獲得減少、解約増加

流通額増　フロウ収益部

対前年同期比　＋9.1％
顧客流通額
389億円 ▶ 424億円

・システムの増強
　店舗システムの増強完了　→　高速安定で消費市場拡大に対応
　消費者接続の増強　→　多面的導線へ対応（主婦の友（女性F1，F2雑誌WEB）など）
・開店期間短縮　☆ PVが前年同月比2．6倍に拡大（09年8月）、年間20億円台に、顧客店舗の88％に影響
　スタートセミナーの活性化　→　「最短の開店」を目指す（2ヶ月以内65％）

顧客のビジネスサポートの定型化を強化

・テクニカルサポートの導線強化　→　4月スタートの構築失敗。やりなおしで呼損減から呼減へ
・ビジネスサポートの定型化を強化　→　開店チームと分離（開店特化、運営特化、商流特化に3分類）

平成22年3月期　第2四半期
【第12期】　決算説明資料
2009年度

1 第2四半期決算概要と活動

2 第2四半期決算ハイライト

3 業績背景

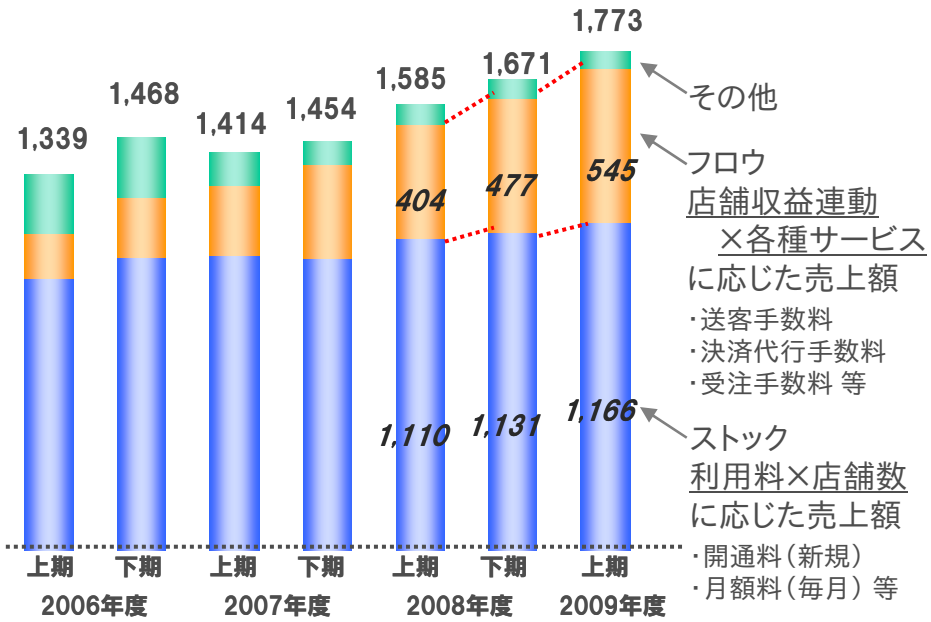
4 今期の課題と下期施策

5 会社と事業の概要

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore

P／L ハイライト　売上

単位：百万円



売上高が順調に増大

1,773百万円　　前年同期比　1.87億円増

店舗売上高連動のフロウ売上のシェアを高めている

フロウ売上比率　30.8%　前半同期比　5.3%増

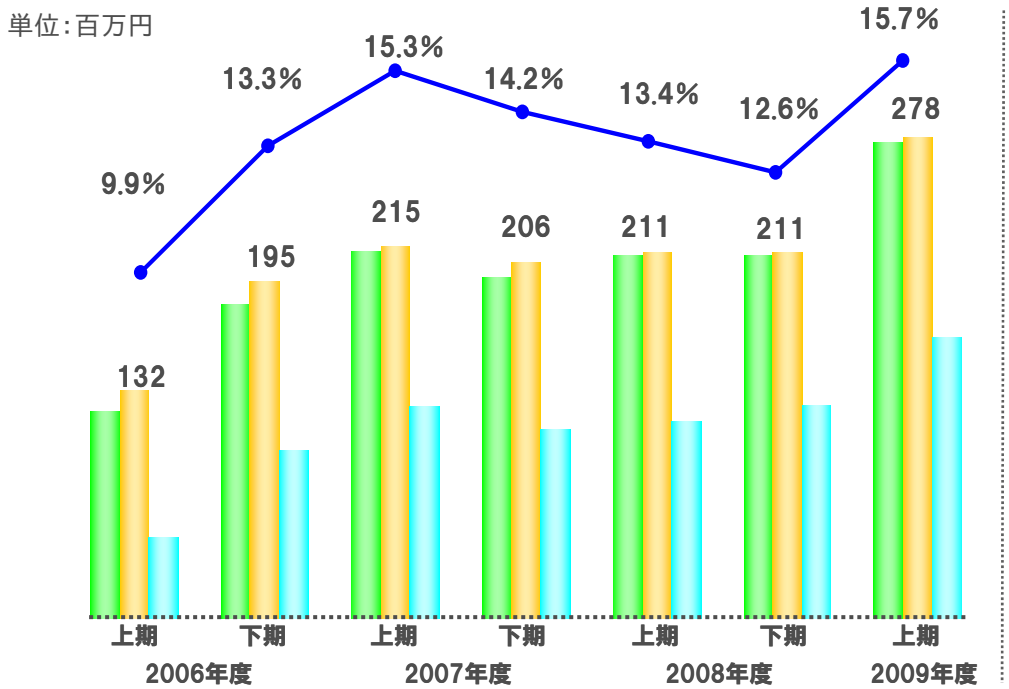
ストック（顧客数に応じた売上額）	+55百万円
フロウ（顧客売上高に応じた売上額）	+141百万円
その他	△9百万円

売上高（構成）の推移

単位：百万円、百分率

	2006年度 上期（4月～9月）	2006年度 下期（10月～3月）	2007年度 上期（4月～9月）	2007年度 下期（10月～3月）	2008年度 上期（4月～9月）	2008年度 下期（10月～3月）	2009年度 上期（4月～9月）	前年同期比
売上高	1,339	1,468	1,414	1,454	1,585	1,671	1,773	111.9%
ストック	969	1,042	1,048	1,036	1,110	1,131	1,166	105.0%
フロウ	156	216	250	336	404	477	545	135.0%
その他	212	209	115	82	70	63	60	86.9%

P／L ハイライト　利益



経常利益前年同期比131.4%増

経常利益率2.3ポイント増

売上原価 ＋ 販管費 ‥‥ 1,497百万円
前年同期比122 百万円増

・売上原価の自然増　　+170百万円
　ー ハウジング・サービス代行手数料等

・営業の効率化
　ー 広告宣伝費等の効率投下　　△13百万円
　ー 人件費増（約6%）を凌ぐ売上増（約12%）

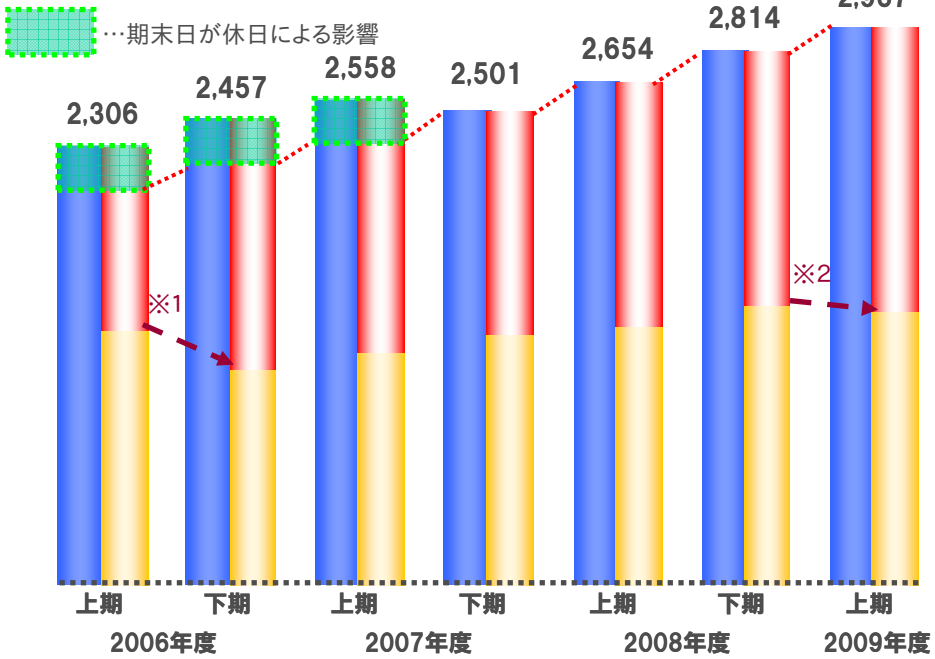
営業利益・経常利益・四半期純利益・経常利益率の推移

単位：百万円、百分率

	2006年度 上期(4月～9月)	2006年度 下期(10月～3月)	2007年度 上期(4月～9月)	2007年度 下期(10月～3月)	2008年度 上期(4月～9月)	2008年度 下期(10月～3月)	2009年度 上期(4月～9月)	前年同期比
営業利益	119	182	212	197	210	210	275	131.0%
経常利益	132	195	215	206	211	211	278	131.4%
四半期純利益	47	97	122	109	114	123	162	141.8%
経常利益率	9.9%	13.3%	15.3%	14.2%	13.4%	12.6%	15.7%	ー

B／S ハイライト

単位：百万円



資産、負債・純資産（資本）の推移

引き続き財務内容安定

利益剰余金の増加 と 顧客の商売繁盛に伴う預り金の増加により 総資産は増加

総資産　・・・・　2,937百万円　+122百万円

当期純利益　+162百万円
預り金　+76百万円
→ 顧客の売上増に伴い回収代行額が増加

①システム投資による固定資産増　+94百万円
②自己株式購入　△121百万円
→ 自己資本比率は低下
③配当金支払　△71百万円

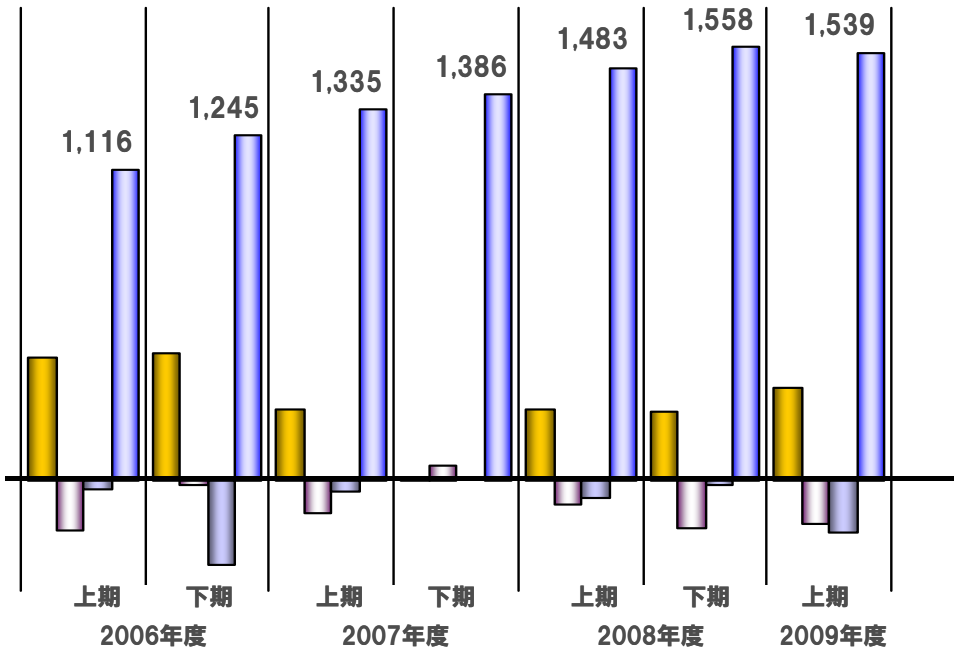
単位：百万円、百分率

	2006年度 上期(4月～9月)	2006年度 下期(10月～3月)	2007年度 上期(4月～9月)	2007年度 下期(10月～3月)	2008年度 上期(4月～9月)	2008年度 下期(10月～3月)	2009年度 上期(4月～9月)	前期末比
資産の部	2,306	2,457	2,558	2,501	2,654	2,814	2,937	104.4%
負債の部	959	1,314	1,332	1,175	1,290	1,338	1,492	111.5%
純資産の部	1,346	1,143	1,226	1,326	1,363	1,476	1,445	97.9%
（参考）自己株式	△356	△661	△661	△661	△661	△661	△782	118.3%

※1. 自己株式取得　※2. 自己株式取得

C／F ハイライト

単位：百万円



自己株式取得により一時的にキャッシュ減少
フリーキャッシュフローは順調　（次頁参照）

期末残高　1,539百万円（自己株式購入による微減）

営業活動CF　・・・　331百万円のプラス

投資活動CF　・・・　156百万円のマイナス
安定高速化のためのシステム投資

財務活動CF　・・・　193百万円のマイナス
配当金の支払　71百万円
自己株式の購入　121百万円

キャッシュフローの推移

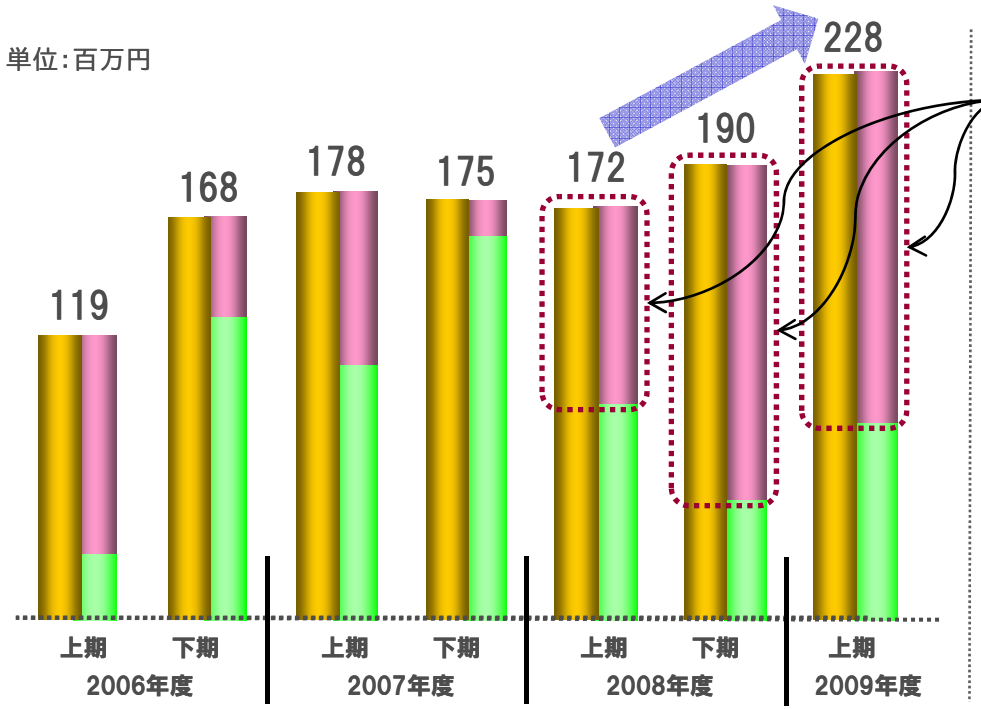
単位：百万円

	2006年度 上期(4月～9月)	2006年度 下期(10月～3月)	2007年度 上期(4月～9月)	2007年度 下期(10月～3月)	2008年度 上期(4月～9月)	2008年度 下期(10月～3月)	2009年度 上期(4月～9月)	前年同期比（増減）
営業活動によるキャッシュフロー	438	456	252	1	256	249	331	74
投資活動によるキャッシュフロー	△179	△22	△118	49	△90	△173	△156	△66
財務活動によるキャッシュフロー	△38	△304	△44	△0	△69	△0	△193	△123
四半期末残高	1,116	1,245	1,335	1,386	1,483	1,558	1,539	―

規定のキャッシュフロー計算では本業の実態がつかみにくいため、くわしくは、次ページで説明します。

フリーキャッシュフロー

単位：百万円



事業で蓄えたキャッシュを事業用資産に積極投資

店舗への送客を強化
送客システムの高速安定化
店舗システムの高速安定化

・有形固定資産の取得による支出
　　・・・・ 53百万円

・無形固定資産の取得による支出
　　・・・・ 92百万円

フリーキャッシュフローの推移

単位：百万円

	2006年度 上期(4月～9月)	2006年度 下期(10月～3月)	2007年度 上期(4月～9月)	2007年度 下期(10月～3月)	2008年度 上期(4月～9月)	2008年度 下期(10月～3月)	2009年度 上期(4月～9月)	前年同期比（増減）
事業で蓄えたキャッシュ	119	168	178	175	172	190	228	55
有形･無形固定資産の取得売却による支出（CF）	△90	△42	△72	△14	△82	△139	△146	△64
フリーキャッシュフロー	28	126	106	160	90	50	82	△8

※ フリーキャッシュフロー ＝ 事業で蓄えたキャッシュ（ 税引後営業利益 ＋ 減価償却費 ）± 有形・無形固定資産の取得売却による支出

平成22年3月期　第2四半期
【第12期】　決算説明資料
2009年度

1 第2四半期決算概要と活動

2 第2四半期決算ハイライト

3 業績背景

4 今期の課題と下期施策

5 会社と事業の概要

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore

サービス別 販路別 契約件数　累計

（単位：件）

	サービスラインナップ	自社販路 直販＋小口取次 累計件数	自社販路 直販＋小口取次 前期末比	依存販路 大口取次＋OEM卸売 累計件数	依存販路 大口取次＋OEM卸売 前期末比	合計 累計件数	合計 前期末比
強化商品	S ショップサーブ	9,283	↗1,544	4,591	↗553	13,874	↗2,097
	S サイトサーブ2　【sシリーズ】	335	↗67	44	↗6	379	↗73
	H サイトサーブ2　【vシリーズ】	1,200	↗155	587	↗51	1,787	↗206
直販終了商品	S サイトサーブ　【2003モデル】	4,593	↘591	9,588	↘969	14,181	↘1,560
	S ストアツール　【2003モデル】	665	↘81	4	–	669	↘81
	H サイトサーブ　【2000モデル】	55	↘7	16,762	↘16	16,817	↘23
	S ストアツール　【2000モデル】	67	↘14	202	↘24	269	↘38
	H ドメイン所有サービス	58	↘3	–	–	58	↘3
	H データストレージサービス	–	–	4	→ –	4	→ –
	合　計	16,256	↗1,070	31,782	↘399	48,038	↗671

S　ショップ関連サービス
H　ホスティング関連サービス

・代理店 3,659社
・直販

・SBR（旧 テレウェイヴ）
・USEN
・ITX（旧 ITテレコム）

平成22年3月期　第2四半期
【第12期】　決算説明資料
2009年度

1 第2四半期決算概要と活動

2 第2四半期決算ハイライト

3 業績背景

4 今期の課題と下期施策

5 会社と事業の概要

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore

今期の課題と下期施策

市場拡大に対する、コスト増抑制策を強化
次4年の 収益造りについて、財務資金を事業に投下

システム増強

ほぼ計画どおり進捗し、スケーラビリティを確保
ひきつづきに、下期は機能の強化を行ってゆく

・店舗システムを、新アーキテクチャに刷新 …… ショップサーブ

→　消費市場拡大に対応、スケーラビリティの確保、次世代SEOなどに対応

・消費者接続システムの増強 …… ショッピングフィード

→　消費市場拡大に対応、多面的導線増への対応

アナログ系消費者を持つ雑誌接続など
他社接続を強化中。
下期はさらに増強し、期中から収益化をはかる

顧客のビジネスサポートの定型化を強化

・テクニカルサポートの導線強化　→　顧客幅拡大によるコスト圧迫を抑制
・ビジネスサポートの定型化を強化　→　顧客数拡大によるコスト増を抑制

施策失敗による再起動中
コスト圧迫は軽微に留まった
期末に向けて完了を目指す

コスト圧迫面よりも商流額増大に
ややシフトする

平成22年3月期　第2四半期
【第12期】　決算説明資料
2009年度

1 第2四半期決算概要と活動

2 第2四半期決算ハイライト

3 業績背景

4 今期の課題と下期施策

5 会社と事業の概要

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore

会社概要

日本中をウェブショップだらけに
企業スローガン

小×多の日本経済創造
少数の大企業よりも、大量の中小企業で

設立年月日	1999年2月17日
資　本　金	5億2,332万円
発行済株式総数	51,636株　内、自己株式数 6,811株
本　　社	東京都港区西新橋1−10−2
従　業　員	136名　前期末比5名増　正社員93名、契約・派遣社員・アルバイト43名
代　表　者	石村 賢一
株 式 市 場	4304　大阪証券取引所ヘラクレス市場　2001年9月19日上場

ウェブショップ総合支援業

店舗、陳列、集客、宣伝、販売、代金回収、ECインフラ、ツール、コンサル、教育

48,038顧客　29,372店舗　＋　18,666サイト